

since 2005



**ANNIVERSARY**

次世代へつなぐ

広報

ひなた

設立20周年記念特別号

JA長崎せいひ

Vol.238

Monthly JA Magazine

2025 April

4



設立20周年に寄せて

## これからも皆様に寄り添うJAで あり続けるために

長崎西彼農業協同組合  
代表理事組合長

中 川 一 範

組合員の皆様を始め関係機関の温かいご支援のもと、長崎西彼農業協同組合が誕生して20周年を迎えることができました。

これもひとえに組合員の皆様、JAを利用いただいたいる地域の皆様、関係機関の皆様のご支援とご協力の賜物と感謝いたしております。

さて、この20年を振り返りますと、まず、合併直後平成19年に発生したサブプライム住宅ローン問題を背景とした世界的金融危機が思い出されます。この出来事は、JA経営にも大きな影響を与えましたが、とりわけJAバンクの中核である農林中金への影響が大きく、結果として増資問題が発生する事態となりました。平成22年には、宮崎県で口蹄疫が発生、その後全国各地で鳥インフルエンザが発生し、畜産農家を抱える当JAにとって衝撃は大きく防疫危機管理体制の強化が必要となった年です。

平成23年には東日本大震災が発生、この後も平成28年熊本地震や記憶に新しい令和6年の能登半島地震等数々の大災害が全国で発生し、農業を始め一次産業に多大な被害を与え、これらは未だ復興は遠い状況にあります。

貿易の完全自由化につながるTPP（環太平洋パートナーシップ）については、JAグループは強力な反対運動を展開しましたが、平成30年11か国により「TPP11」が国会で承認されました。

平成26年第2次安倍政権では成長戦略の一環として、規制改革会議の答申を受けた農協法の見直しが行われ、平成27年改正農協法が成立しました。その結果、中央会制度が新制度へ移行することになり、JAの組織・事業について大幅に見直しがなされました。

令和2年には新型コロナウイルス感染症が急激に全国に蔓延、「緊急事態宣言」も出される中、日常生活を大きく変えざるを得ない状況になりました。現在もインフルエンザ等が複合的に影響し、日常生活は完全に元に戻ったとは言



難い状況にあります。令和4年のロシアのウクライナ侵攻はその後発生した中東紛争もあり、世界各国に様々な影響を与えておりますが、我が国は急激な物価高に見舞われ現在も国民生活を圧迫しております。

当JAの実態をみてみますと、この20年間で正組合員数は約41%減少し、正職員数も約39%減少しております。また、経営の安定、財務の健全性の観点から、合併当時、支店・出張所・営業所として52あった店舗は、現在支店数13まで集約し、その他農業関連施設等各施設も大幅に集約しております。しかし集約を進める一方では新金融店舗オープンや、斎場の建設等も行っております。

また、合併当時重要な課題であった不良債権問題はこの20年間で完全に払拭し、財務健全性を示す自己資本比率は15・18%（5年度末）となっております。しかし一方で各事業の低迷は続き、どのようにして事業量を確保していくかが重要な課題となっております。

こうした20年間の出来事や20年のJAの変遷を振り返りますと、JAを取り巻く環境を含めJAが大きく変化していることを実感します。

今、当JAは組合員、職員の世代交代の時を迎えており、次世代への継承が課題となっております。こうした状況の中、私達は組合員の皆様や利用者の方々に変わらぬ信頼を得、利用していただくために、「原点回帰」して、組合員・利用者の方々の皆様とのふれあいを大事にする組織でありつづけなければならないと考えております。

今年20周年記念の年は、この気持ちを忘れず、組合員、利用者の方々と一緒にこの20周年を祝うイベントを多数企画・実施し、これからの10年、20年に繋がる年にしたいと考えております。

最後になりますが、組合員、関係者の方々の皆様からのご活躍とご多幸を心より祈念いたしまして、私の設立20周年記念の挨拶とさせていただきます。



長崎市長  
鈴木 史 朗

この度、長崎西彼農業協同組合が合併20周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、平成17年4月の管内3JA合併発足以来、長崎市における農業の振興や地域の活性化に、多大なるご支援、ご協力を賜っており、厚くお礼を申し上げます。

長崎市といたしましては、今後とも貴組合をはじめとする関係者のご意見を伺いながら、担い手の確保や生産基盤整備の推進など、次世代につながる農業振興に努めてまいります。

結びに、貴組合の更なる発展と組合員の皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



諫早市長  
大久保 潔 重

長崎西彼農業協同組合の設立20周年を心よりお祝い申し上げます。

20年の長きにわたり地域農業の発展と組合員の皆様の生活力向上に尽力されてきた貴組合の功績に深く敬意を表します。

貴組合管内で生産されるみかんやいちごをはじめとする農産物は、県内外から好評をいただいております。皆様の日々の努力の賜物であります。

市としても、貴組合との連携をより一層深め、共に地域農業の振興に邁進してまいります。

最後に、貴組合の益々の御発展と組合員の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



西海市長  
杉 澤 泰 彦

長崎西彼農業協同組合が発足20周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、白崎及び小迎地区における樹園地の農地基盤整備事業の推進をはじめ、新規就農者の育成・確保に向けた研修施設の開設やハウスリース事業など、本市の農業振興に多大な貢献をいただいております。

これも偏に中川組合長をはじめとする役員並びに組合員の皆様の熱意と努力の賜物と深く感謝と敬意を表します。

本市も貴組合同様、今年、市制施行20周年を迎えました。これまでの取り組みを踏まえ、本市特産品のブランド戦略「ぎゅぎゅっと！西海」の確立及び一層の農業振興に向けて、今後も貴組合とさらなる連携を深めてまいります。

結びに、貴組合の今後一層の発展と組合員皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



長与町長  
吉 田 慎 一

長崎西彼農業協同組合発足20周年、誠におめでとうございます。

組合員の皆様方には、大村湾に面した豊かな資源を背景に、県下に誇る豊富な農産物の生産に組織を挙げて取り組まれ、各地域の産地の継承に大きく寄与されているところでございます。

今後とも、組合の経営理念であります、食と農を大切に、豊かな地域社会の確立に向けた取り組みにご期待申し上げる所存であります。

結びに、長崎西彼農業協同組合の更なるご発展と組合員皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



時津町長  
山 上 広 信

長崎西彼農業協同組合の発足20周年を心よりお祝い申し上げます。

本町の特産品として長年親しまれております「ぶどう」「みかん」「びわ」は、貴組合及び組合員皆様のご尽力によって、これまで支えられてきております。

第1次産業を取り巻く環境は厳しい状況ではございますが、本町としましても、農産物の「ブランド化・生産力向上」への支援を行い、今後も貴組合と共に、農業振興に努めてまいる所存です。

結びに、貴組合の益々のご発展と、組合員皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

# JA長崎せいひ 20年間の主な出来事

2009  
平成21年

- 4月 じげもん長与オープン
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 世界同時不況

2008  
平成20年

- 2月 県域物流スタート
- 3月 さくら会館三重オープン
- 11月 ローンセンターオープン
- 11月 自動車整備センターオープン
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 東証バブル後最安値
- 後期高齢者医療制度施行

2007  
平成19年

- 2月 さくら会館大崎オープン
- 3月 さくら会館西彼オープン
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 原油価格高騰、100ドル目前に
- 年金不突合5,000万件発覚

2006  
平成18年

- 4月 道の駅夕陽が丘そとめオープン
- 6月 第1次中期経営計画・地域農業戦略決議
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 日銀が量的緩和解除
- 日本の人口減少局面に

2005  
平成17年

- 4月 長崎西彼農業協同組合発足
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 東証出来高バブル期を上回る
- 国際原油相場高騰
- 農政改革3法案成立



じげもん長与オープン(平成21年)



自動車整備センターオープン(平成20年)



長崎西彼農業協同組合発足式(平成17年)

## TOPICS 合併から20年の組織の移り変わり

平成17年4月、JA長崎せいひは旧JA大長崎・東長崎・ことのうみの3JAの合併により発足した。それから20年のJAの歩みは上記のとおりである。この間JA組織も大きく変化してきている。



- **組合員数** 合併当時の組合員数は正組合員数13,573名、准組合員数27,694名合計41,267名であった。令和5年度末の正組合員数7,908名、准組合員数21,358名合計29,266名となり、正組合員が5,665名(41%)の減少、合計の組合員数は12,001名(29%)の減少となっている。
- **役員数** 役員数は合併年度は理事63名うち常勤理事7名、監事18名の体制であったが、令和6年度末は理事25名うち常勤理事3名、監事6名となり理事は38名、監事12名の減少となっている。
- **職員数** 職員数は合併当初正職員数548名、常用的雇用者数270名で合計818名であったが、令和5年度末は正職員数358名、常用的雇用者数は214名で合計572名となり、246名(30%)の減少となっている。
- **出資金** 出資金は合併当時3,398,116千円が令和5年度末3,163,747千円で234,369千円の減少となっている。

## TOPICS 本店機能の移転・推移

合併当時、本店機能は元船、小迎、久留里に分散していたが、平成25年7月に元船に集約した。さらに、平成30年11月事業改革の一環として元船から現在の興善町に移転した。これに先立ち10月には小迎に北部営農経済センター、伊木力に南部営農経済センターを設置した。



2014  
平成26年

- 5月 第4期女性大学開講
- 11月 設立10周年記念式典
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 消費税率10%への引き上げ延期
- 7年ぶりの円安・株高



設立10周年記念式典挙行(平成26年)

2013  
平成25年

- 4月 西海市基盤整備事業検討開始
- 5月 第3期女性大学開講
- 6月 第3次中期経営計画・地域農業戦略決議
- 7月 本店を元船へ集約
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 日本、TPP交渉に参加



第10回全国和牛能力共進会長崎大会開催(平成24年)

2012  
平成24年

- 4月 第2期女性大学開講
- 10月 第10回全国和牛能力共進会長崎大会(内閣総理大臣賞)
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 景気後退局面に
- 消費増税法が成立

2011  
平成23年

- 4月 第1期女性大学開講
- 10月 ことのうみ伊木力選果場稼働
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 東日本大震災、原発事故で甚大被害
- 歴史的円高一時1ドル1175円代
- 野田首相、TPP交渉参加を表明



ことのうみ伊木力選果場稼働(平成23年)

2010  
平成22年

- 4月 新築伊木力支店オープン
- 6月 第2次中期経営計画・地域農業戦略決議
- 9月 小迎みかん選果場稼働
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 円高、ゼロ金利復活
- 宮崎県で口蹄疫、牛豚29万頭を処分

## TOPICS 支店・施設の再編・統合と新店舗建設

合併当時は支店体制は支店31、出張所8、営業所13であったが、経営安定、財務の健全化をすすめることを目的に中期経営計画実践にあわせて支店・施設の統廃合を行った。その結果、支店は13支店に集約統合され、その他農業関連施設、事業所、直売所、Aコープ、給油所等において集約、統合、廃止を行った。

一方で、合併から20年経過し、旧JA時代の施設の老朽化がすすむ中、伊木力、長与、琴海等の新店舗オープンをはじめ、伊木力選果場、長与集荷場などの農業施設や道の駅夕陽が丘そとめ、じげもん長与、ふれあい市東長崎等の直売所、さらにさくら会館大崎、西彼、西彼別館、三重、茂木、中央斎場ひなみ等の斎場の建設も行い、これからの組合員の利便性の向上やJA事業の維持・拡大に努めることとしている。



## TOPICS JA体制を取り巻く制度の変化

JA体制の変化では、特に平成27年の農協法改正の成立と自己改革の取り組みが大きい。平成26年政府の規制改革会議における「准組合員利用規制」問題に端を発したJA改革は、紆余曲折の末、平成27年農協法改正によりJAの指導・監査機関である中央会制度が廃止されることで一応の決着を得た。しかしながら規制改革は継続して議論され、その結果JAは自己改革を実践し、早期警戒制度が導入され、行政が指導・監督を行う仕組みが構築された。

これを受けて、JAは行政指導のもと毎年度の総代会において「自己改革工程表」を事業計画の付属資料として提案し、この決議を受けて自己改革の実践・進捗管理を行うこととなった。



# JA長崎せいひ 20年間の主な出来事

2015  
平成27年

- 3月 介護センターいなほ解散式
  - 5月 第5期女性大学開講
  - 6月 長崎西彼農協柑橋部会設立
  - 8月 「長崎夢咲き塾」開講（29年まで実施）
  - 10月 長崎西彼農協いちご部会設立
  - 11月 さくら会館茂木オープン
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- TPP交渉が大筋合意

2016  
平成28年

- 6月 第6期女性大学開講
  - 6月 第4次中期経営計画・地域農業戦略決議
  - 9月 長与集出荷場設置
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 日銀、マイナス金利を初導入

2017  
平成29年

- 3月 移動金融車導入
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 九州北部豪雨で死者・不明者41人
- 8月 ふれあい市東長崎店オープン
  - 11月 本店を元船町から興善町に移転
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 米国抜きTPP11発効
  - 米中貿易摩擦が激化
  - 日銀大規模な金融緩和政策

2018  
平成30年

- 1月 「株式会社アグリ未来長崎」設立
  - 6月 第5次中期経営計画・地域農業戦略決議
  - 7月 さくら会館西彼別館「やすらぎホール」オープン
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 平成から令和へ
  - 消費税10%導入
  - 米中貿易摩擦激化

2019  
平成31年/令和元年

- （社会・経済・政治の主な出来事）



移動金融車導入(平成29年)



さくら会館茂木オープン(平成27年)

## TOPICS 担い手育成への取り組み

平成30年度、担い手農業者育成を目的にJA出資型法人「(株)アグリ未来長崎」を設立した。令和2年度には、「担い手支援センター」を立ち上げ行政の協力も得ながら、ハウスリース事業や「(株)アグリ未来長崎」と連携して担い手の育成支援に取り組んできた。

令和6年からは、「果樹トレーニングファーム」に取り組み、果樹農業の新規就農者の確保・定着をめざしている。

これまで受け入れた研修生は延べ25名、リースハウスは受益戸数41戸、59,235㎡になる。

また、これらの取り組みに先立ち、平成29年度には地域農業の将来を見据え、西海市を皮切りに基盤整備事業の取り組みを始めた。令和2年度には西海市小迎地区・白崎地区が完成した。また、長与地区、東長崎地区においても実施の検討を進めている。



## TOPICS 働きやすい組織づくりへの取り組み

働きやすい組織づくりを進めている当JAは令和5年5月、女性の活躍を促進する企業を厚生労働大臣が認定する制度「えるぼし認定」の最高ランクを取得した。長崎県下JAグループでは初であり、全国のJAでも4番目（全企業では3,000社超）の取得であった。

職場風土にとって最重要課題であるコンプライアンスは、その対応を間違えると事業撤退も余儀なくされかねないほど社会的関心が高まっている。当JAは過去に不祥事が発生し、組合員の皆様の信頼を損ねた経験がある。そのため反省と記憶を風化させないために12月19日を「コンプライアンスの日」とし、この日は毎年、役職員全員に対する研修を行う等、全員でコンプライアンスの重要性を確認している。



2024  
令和6年

- 米高騰
- 日銀マイナス金利解除
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 10月 琴海支店 新金融店舗オープン

2023  
令和5年

- イスラエル、ガザ侵攻
- 石川・能登で大地震
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 4月 正組員宅全戸訪問
- 「ふれあい訪問」活動本格始動
- 6月 えるぼし認定授与式

2022  
令和4年

- ロシア、ウクライナ侵攻
- 円安1ドル150円を突破、物価高
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 1月 移動販売車始動
- 2月 「AGRI+」オープン
- 6月 第6次中期経営計画・地域農業戦略決議
- 7月 さくら会館中央斎場ひなみオープン
- 10月 長与支店 新金融店舗オープン

2021  
令和3年

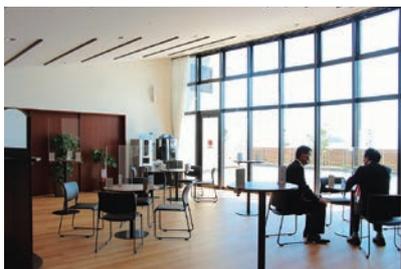
- コロナ長期化、進むワクチン接種
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 3月 基盤整備事業西海市小迎地区・白崎地区完了
- 3月 (有)大西海ファーム新繁殖牛舎完成
- 9月 伊木力選果場統一選果販売スタート

2020  
令和2年

- 九州で豪雨・死者多数
- 新型コロナウイルス猛威
- 〈社会・経済・政治の主な出来事〉
- 4月 担い手支援センター設置



えるぼし認定授与式(令和5年)



さくら会館中央斎場ひなみオープン(令和4年)



基盤整備事業西海市小迎地区・白崎地区完了(令和3年)

## TOPICS 組合員との絆を深める取り組み

組合員の高齢化や世代交代に加え、支店統廃合の実施、コロナ禍による環境変化等で組合員と関係が従来より薄れ、組合員との繋がり強化が重要な課題となっている。こうした課題に対応するため、全正組員宅を定期的に訪問する「ふれあい訪問活動」を令和4年度に試行的に実施、令和5年度より全支店で本格的に開始した。2年間の取り組みで面談率も向上し、組合員の皆様から多くの声をいただいております、これらの意見をJA経営に反映させる等今後さらなる充実に取り組んでいくこととしている。

## TOPICS コロナ禍での会議

新型コロナウイルスが私達の生活に多くの影響を与え始めたのは、2020年の2月から3月にかけての時期だった。マスク着用が定着化し、理事会を始め各種会議においてもオンライン会議が開催されるようになった。その年の地区別説明会は中止、総代会出席者を制限して実施するなどの措置をとった。

令和5年5月、新型コロナウイルスは5類感染症へ移行され、この頃から次第に元の日常生活が取り戻されつつあるものの、インフルエンザの流行等もあいまって、現在も完全に脱却した状況にはなっていない。

こうした状況はオンライン会議を常態化させるなど、社会的なデジタル化の進展に副次的効果を与えている。

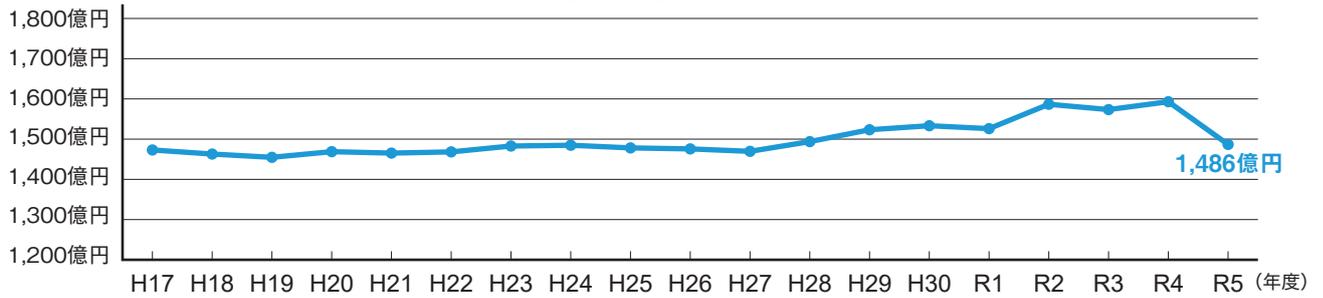
## TOPICS 新たな販売戦略への取り組み

農家の所得増大と農業関連事業の赤字解消のためには、新たな販売戦略への取り組みが大きな課題であった。そのため令和元年度からこれまで行っていた米買取から他の農産物へ買取販売を拡大し、計画以上の成果を上げることに成功した。

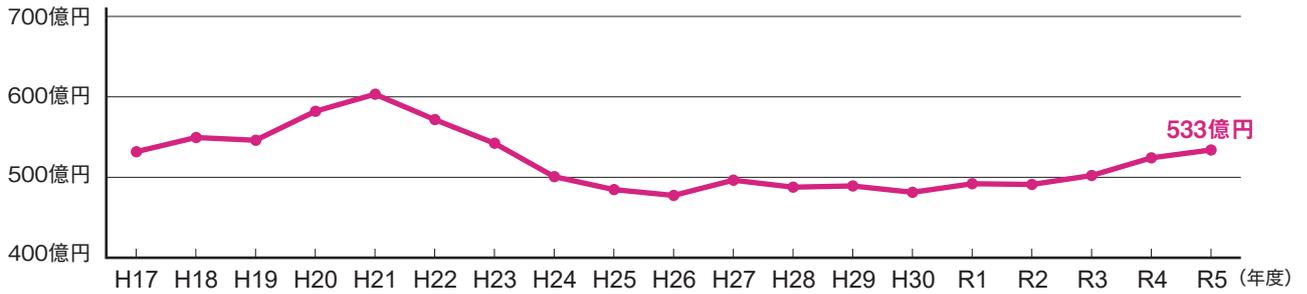
また令和5年には、管内農畜産物のさらなる消費拡大に向けて公式オンラインショップを開設した。この取り組みによりこれまで関わりのなかった新たなファンを拡大することができ、利用者も順調に増えてきている。



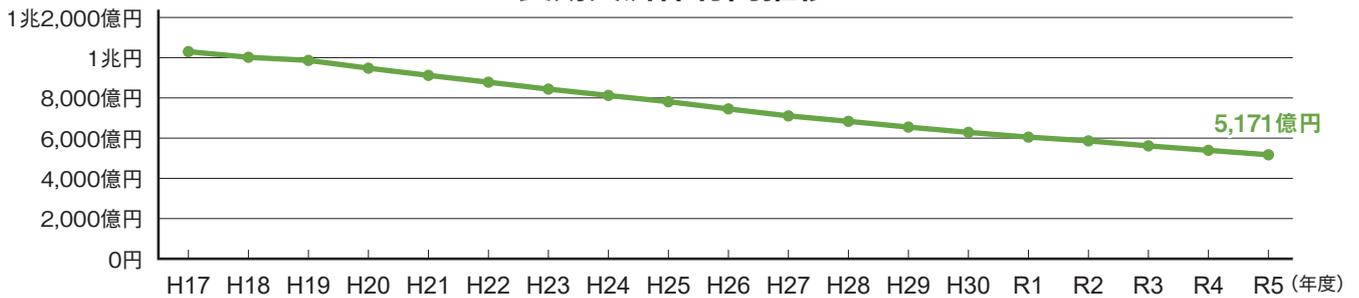
貯金額推移



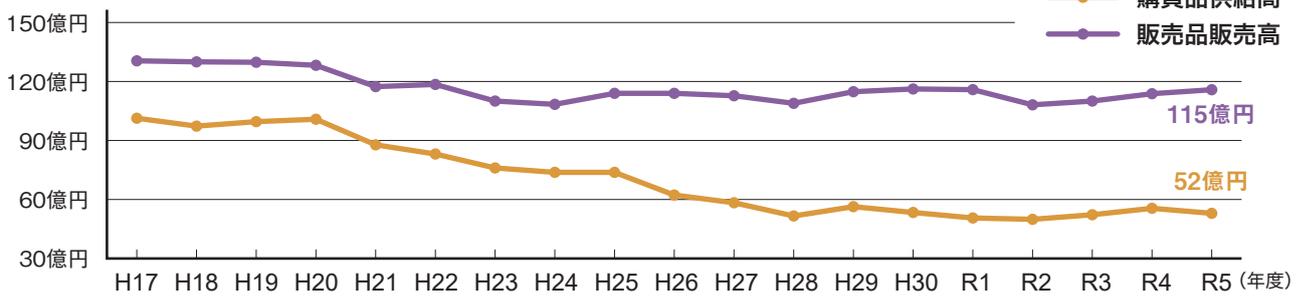
貸出金額推移



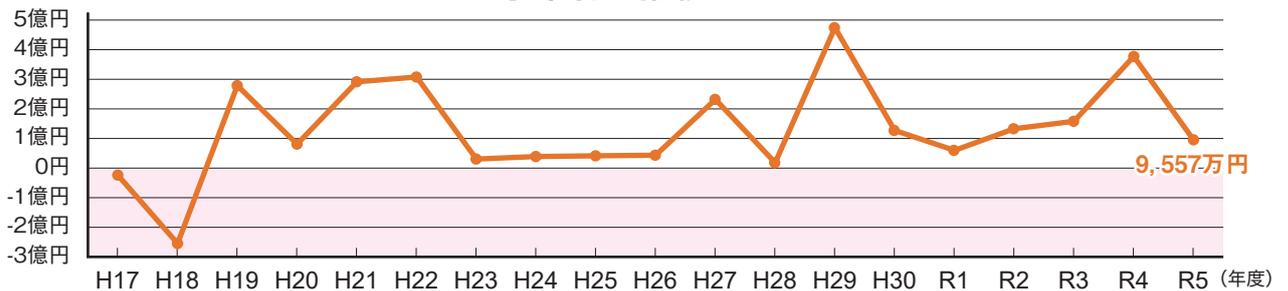
長期共済保有高推移



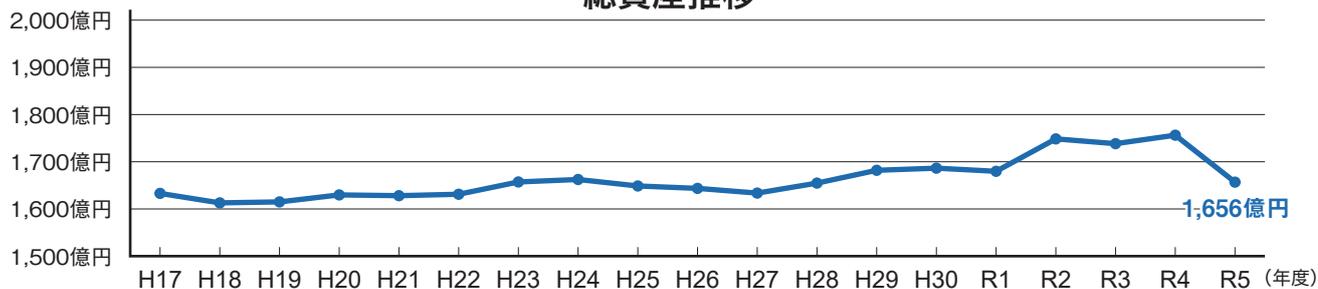
購買品供給高・販売品販売高推移



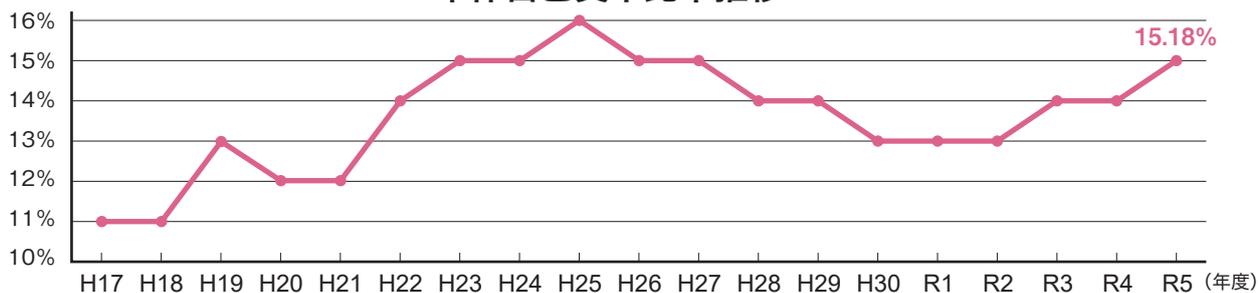
事業利益推移



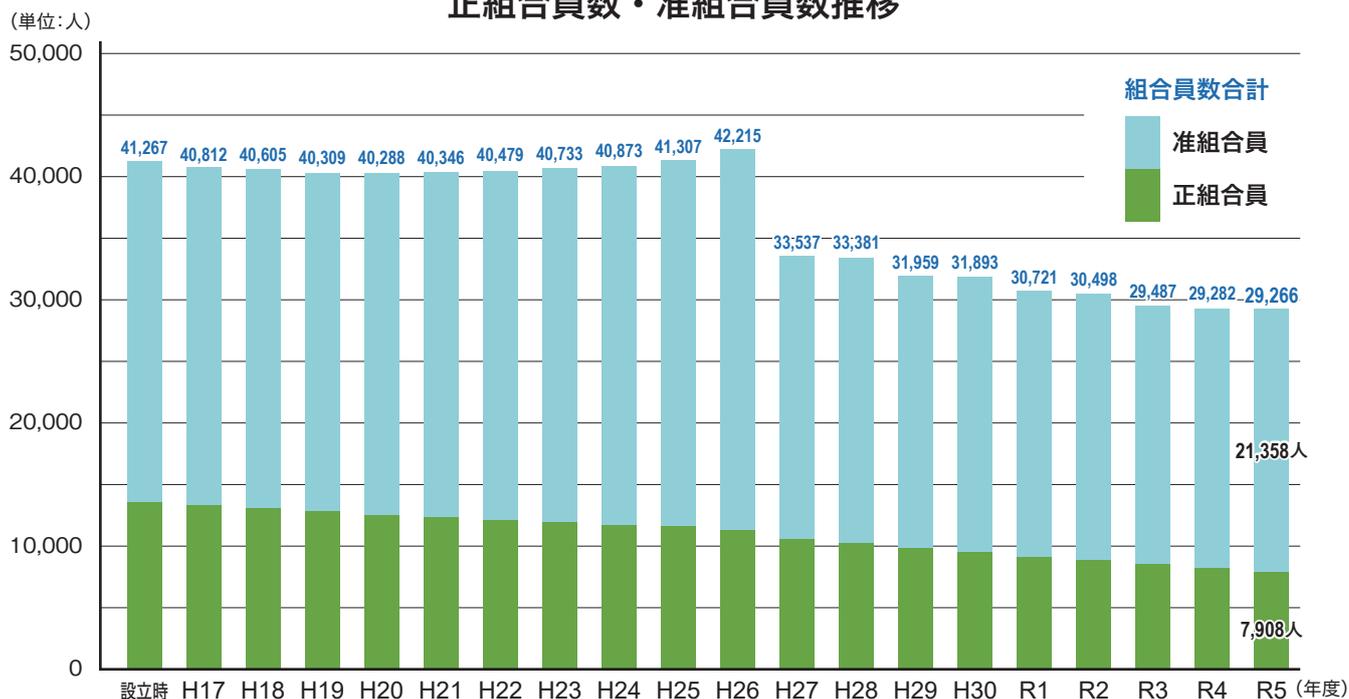
### 総資産推移



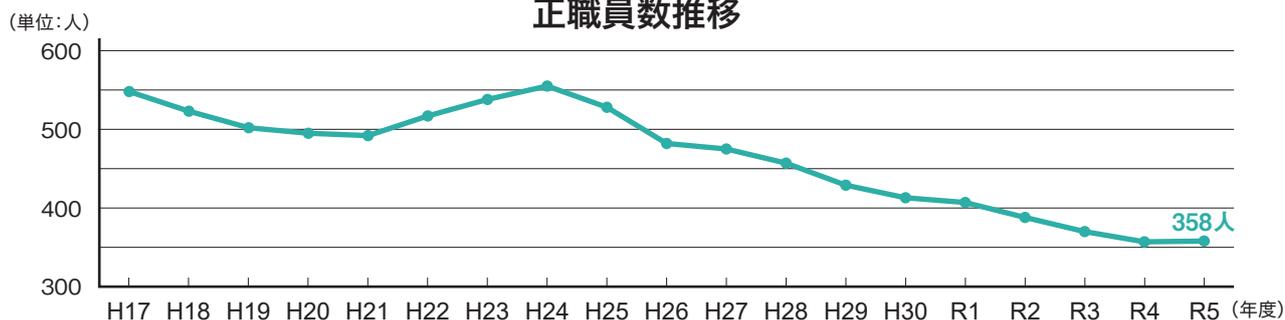
### 単体自己資本比率推移



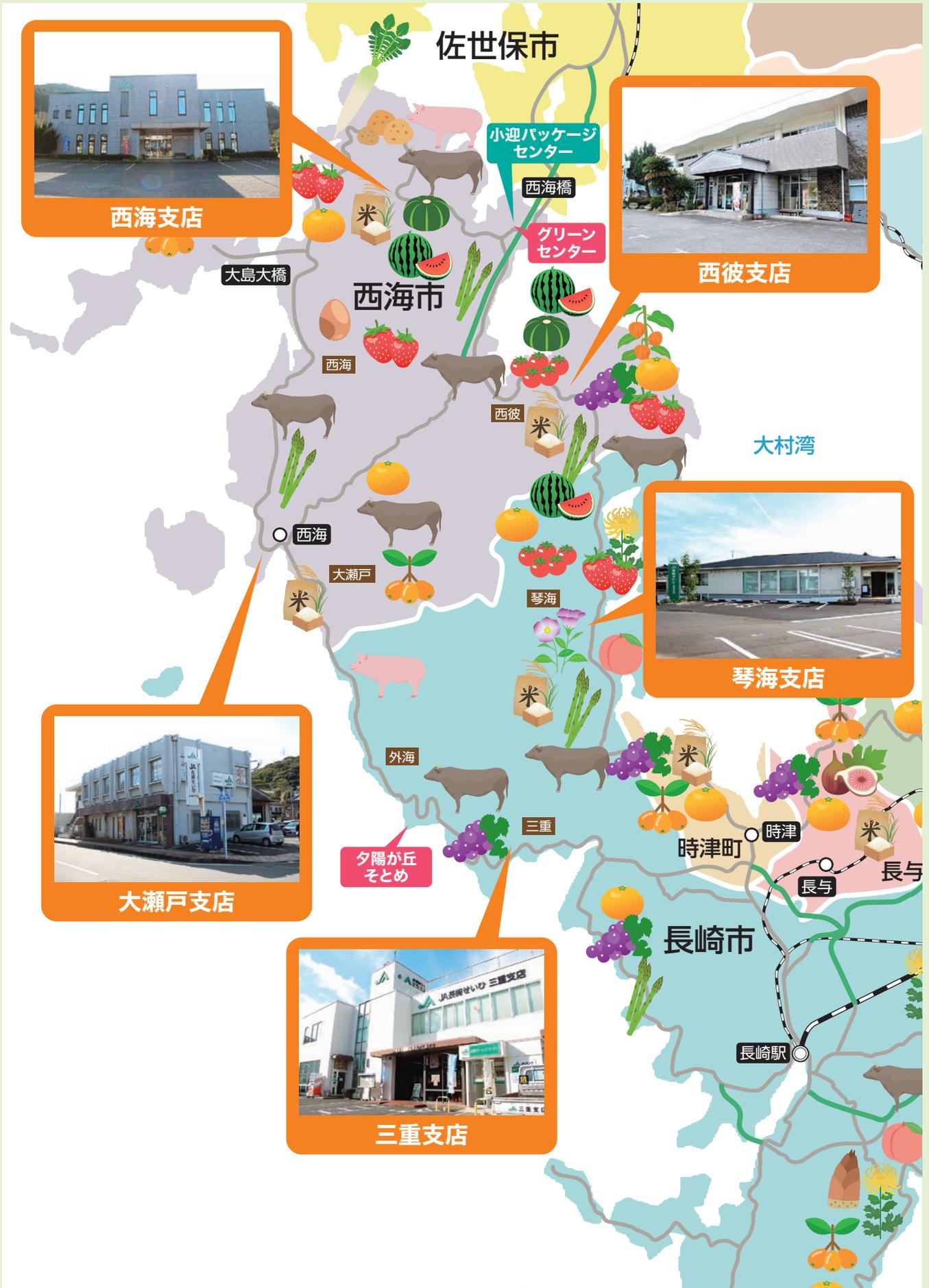
### 正組合員数・准組合員数推移



### 正職員数推移



# 管内マップ



西海支店

西彼支店

琴海支店

大瀬戸支店

三重支店

# 管内マップ



# 管内マップ





## JA 長崎せいひのシンボルマーク

農民の祈りから始まった雨をもたらす「龍」。豊かな農業を育む「太陽」。つまり農業に不可欠な2つの形をシンボライズしたのがこのマークです。

特に龍は「NAGASAKI」のNを龍頭にし、「SEIHUI」のSは龍体へと変形させ、うごきのあるのびのびとしたデザインにしております。

今回の20周年のロゴは  
シンボルマークを使って  
作成しました。

since 2005



✂キトリ

### JA長崎せいひ 20周年プレゼントキャンペーン

ありがとうの  
気持ちを込めて

サンキュー  
抽選で**39名**様に  
オリジナルバッグを  
プレゼント!



#### JAへのおたより

Blank lines for writing a message to JA.

※おたよりは本誌に掲載される場合がありますので、予めご了承ください。  
このハガキに切手を貼ってポストに投函していただくか、お近くの  
JA 長崎せいひ支店窓口へお渡しください。

応募締切 2025年5月31日(当日消印有効)

### 20周年のロゴが入った バッグができました!

ありがとうの気持ちを込めて

サンキュー  
抽選で**39名**様に  
プレゼント!

左の応募ハガキまたは  
公式SNSから  
ご応募ください。

イベント情報も  
コチラから  
チェック!

#### JA長崎せいひの 公式SNS

[Instagram]



[LINE]



抜群の収納力!

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

✂キトリ



平成17(2005)年  
7月号 vol.1 発行  
JAだより『Dash!』創刊

『JAだより』の20年

平成22(2010)年  
6月号 vol.60 発行  
タイトルが『ひなた』へ



JA長崎せいひの「JAだより」は平成17年の7月号から「Dash!」というタイトルでスタートしました。

平成22年6月号からは「ひなた」へとタイトルを変え、多くの方に応援いただき、支えていただきました。

心より感謝を申し上げますとともに、これからも精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

広報

# ひなた 4

設立20周年記念特別号

令和7年3月18日発行

発行 / 長崎西彼農業協同組合 事業戦略室  
〒850-0032 長崎市興善町6番7号  
TEL 095-825-5600 FAX 095-825-5611  
ホームページ <https://ja-nagasakiiseihi.or.jp>

印刷 / (有)正文社印刷所

✂キリトリ

郵便はがき

8 5 0 - 0 0 3 2

85円切手を貼ってください

長崎市興善町6番7号

JA長崎せいひ「ひなた」4月号

20周年記念グッズ

プレゼントキャンペーン 係

✂キリトリ  
(あなたの住所・氏名)

|       |   |
|-------|---|
| 〒     | - |
| 住所    |   |
| フリガナ  |   |
| 氏名    | 様 |
| ペンネーム |   |
| 電話番号  |   |

※匿名希望の方はペンネームをお書きください。  
※住所・氏名・電話番号は正しくお書きください。  
※記入漏れがある場合は無効となりますのでご注意ください。  
※記入いただいた個人情報は20周年プレゼントキャンペーンに関する業務のみ使用します。